



陶器の風合を生かした業務用樹脂食器の開発

信濃化学工業(株)は、陶芸家が作陶した陶器の立体形状をデータ化することで、陶芸家の技とぬくもりを伝える高品位な樹脂製食器を開発し、製品化しました。

◆ 製品の特長

独特の質感と柔らかなライン
陶器の見所と言われる「ろくろ目」、
「そぎ」、「しのぎ」技法の再現

◆ 成果

シンカ業務用樹脂食器 「匠」、「凜」
シリーズとして商品展開。
病院施設、老健施設や社員食堂などで
導入、好評を得ています。
企業において、製造方法特許登録済。



■ 製品開発フロー

(赤字：工技センターでの支援)

① 食器の基礎設計

② 陶芸作家による製作

③ 三次元立体形状の
取得

画像プローブ式三次元
測定機で測定

④ 三次元CADデータ化
点データをCADデータへ

⑤ 形状修正(CAD)

寸法調整、
高台・水切り追加

⑥ 金型製作、樹脂成形

